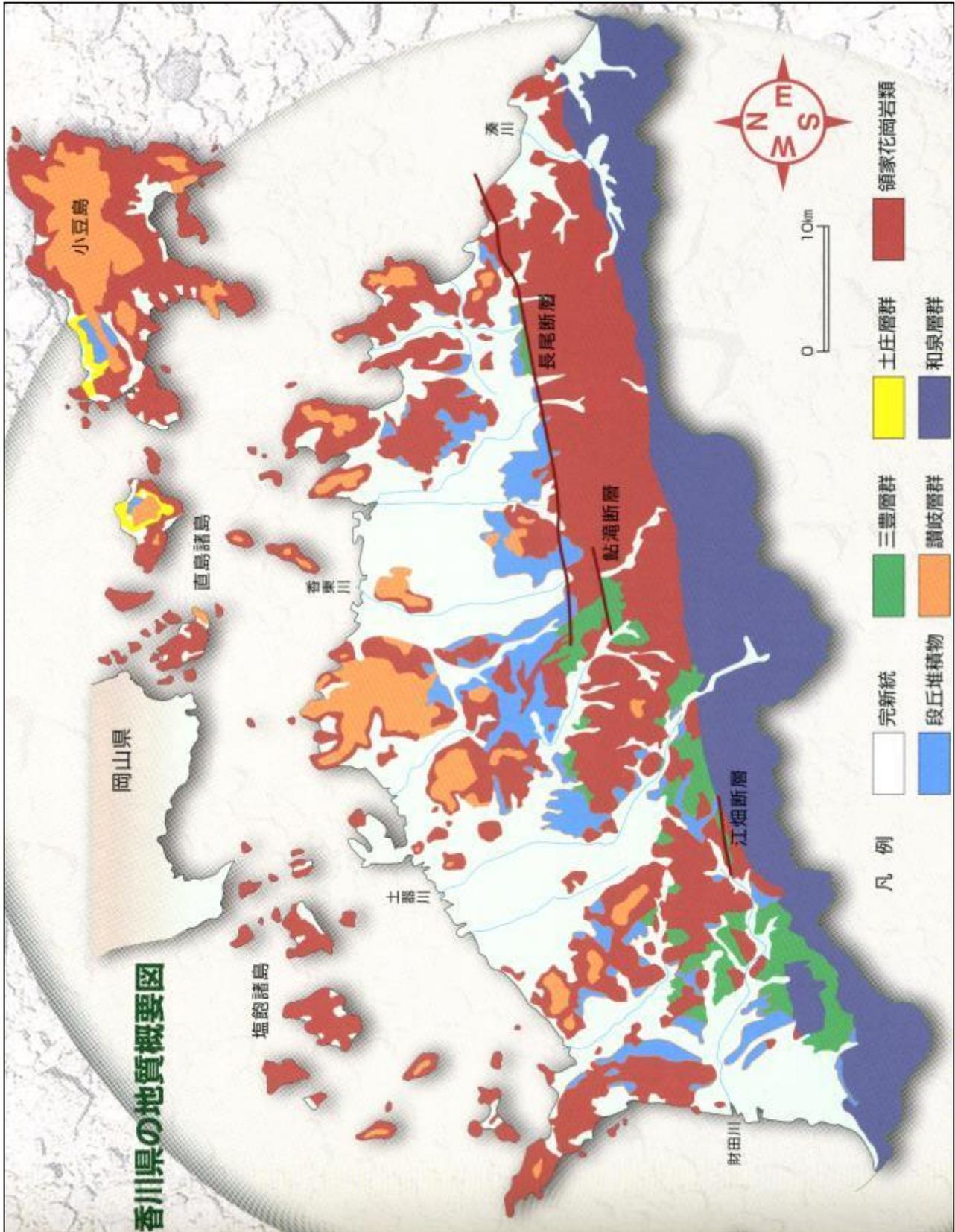


坂出市地域防災計画 参考資料

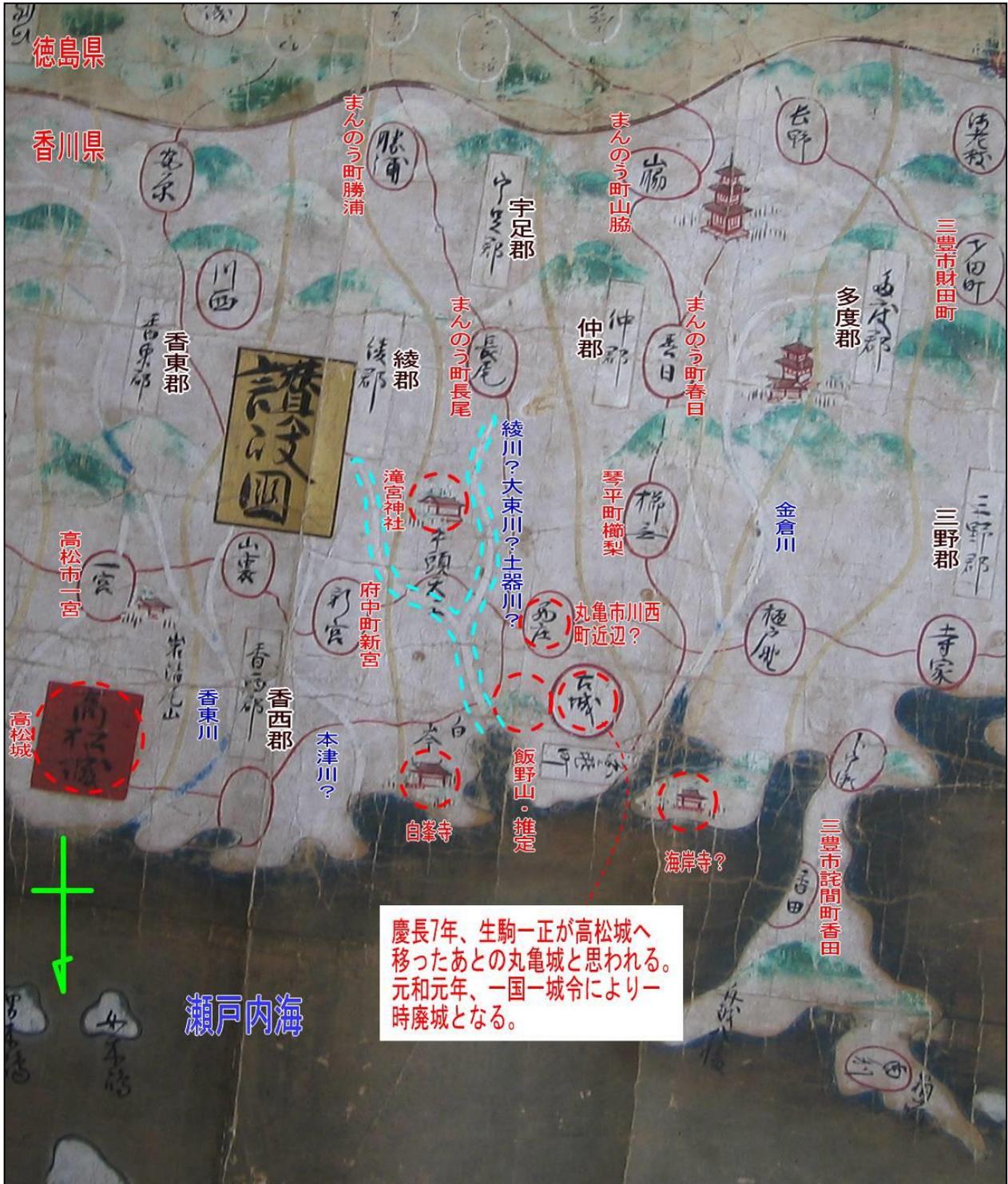
第3章 被害想定図等

3-1 香川県の地質概要図 (「香川の砂防」(平成17年11月香川県)より)



3-2 昔の地図等

『四国古図』（鎌田共催会郷土博物館所蔵）より抜粋（加筆） 慶長年間（1596-1614）

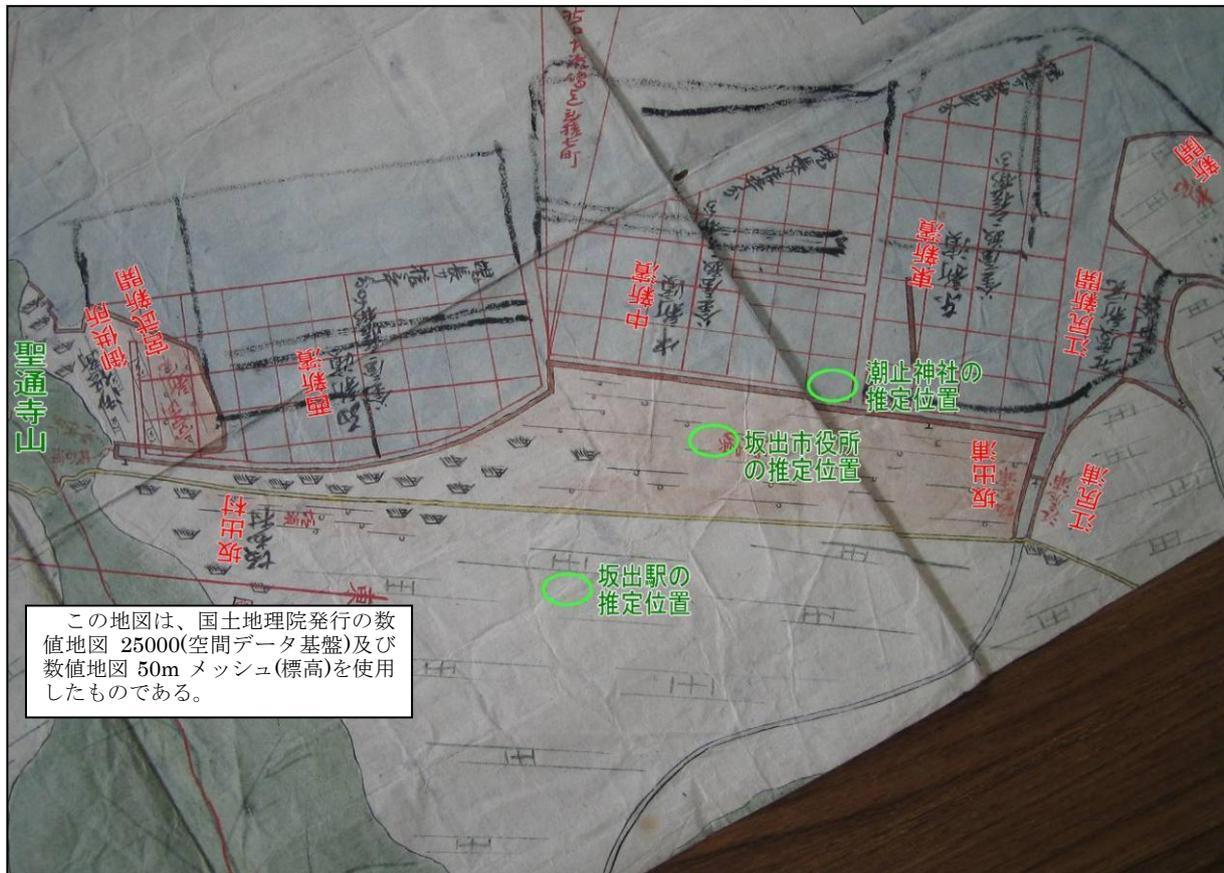


- ・ 古い絵図であるため、位置・距離は正確性に欠ける。
- ・ 丸亀城の左上にある「西庄」は、本市の西庄町ではなく、土器川の西方「木村」と「郡家」の間にある「西ノ庄」のことと思われる。
- ・ 沿岸部中央に描かれた河川が何であるかは不明。位置的には、綾川、大東川、土器川が考えられる。

『慶長年間以前の海岸線の想像図』

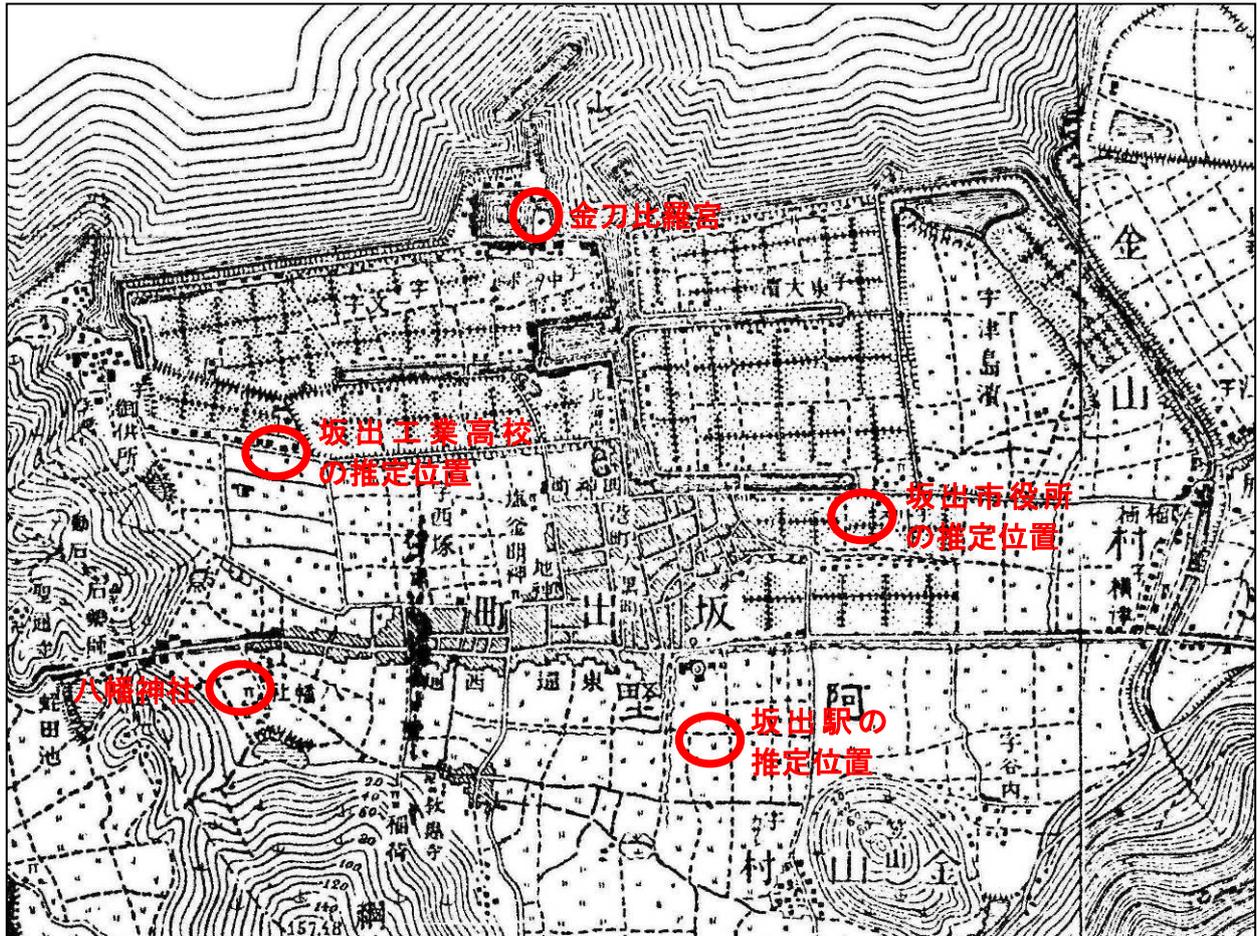


『西御国境鵜足郡ヨリ阿野郡北林田村綾川裾迄海辺測量分間絵図壱町曲尺三歩ニ縮タル図』
(鎌田共催会郷土博物館所蔵)より抜粋(加筆)



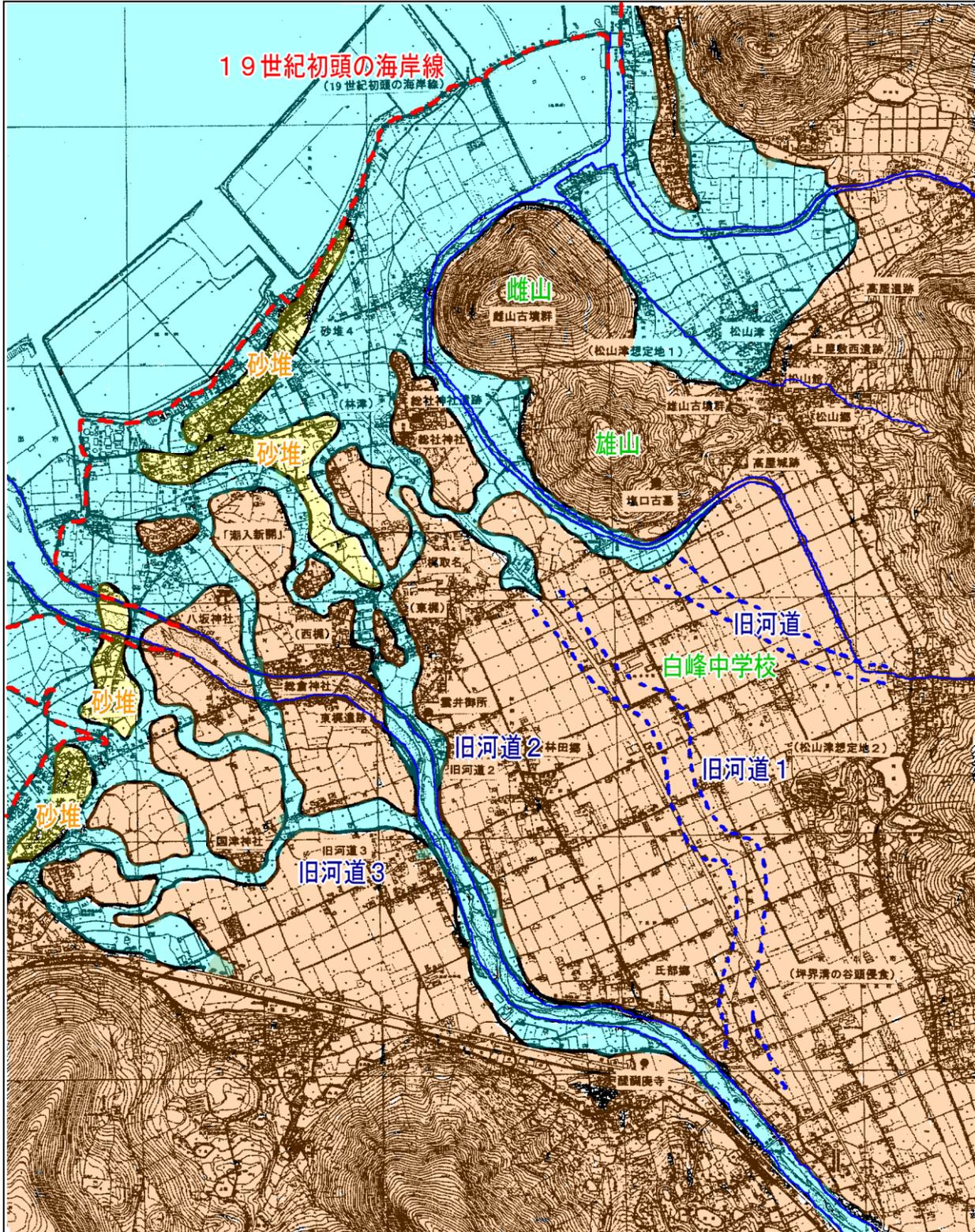
文政年代(1829年頃)の、久米栄左衛門による坂出、宇多津の塩田計画図。「久米栄左衛門蔵ス」とある。

『坂出町地図(明治二四年)』(加筆)



注)この地図は「ふるさとの思い出 写真集 明治大正昭和 坂出」(昭和57年5月, 編著者 川畑 迪)に掲載されていた「坂出町地図(明治二四年)」を転用したもので, 出典は陸軍測量部が作成した「高松および丸亀近傍第五号(明治二四年測量同年製版)」および「高松および丸亀近傍第九号(明治二四年測量同二五年製版)」(ともに鎌田共済会郷土博物館所蔵)である。

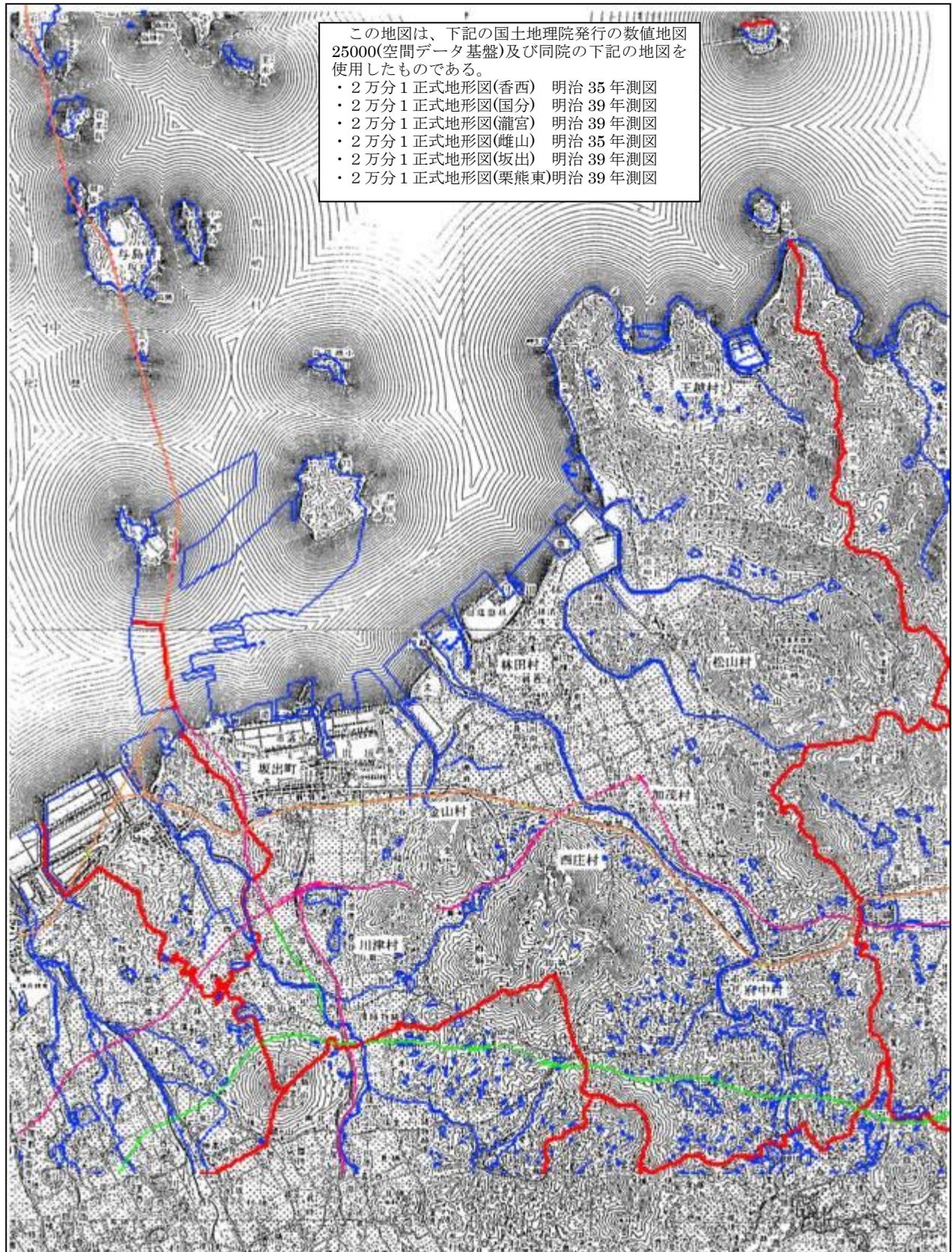
『古代～中世の松山津の景観概念図』（着色，加筆）



「松山津周辺の景観」（香川県歴史博物館（当時）・香川県埋蔵文化財センター 共同調査・研究班）より
 旧河道1は、弥生時代頃の綾川旧河道とされている。その後古代（大和朝廷～平安中期）から近世（安土桃山～江戸時代）初頭にかけて流路は激しく変動していたと考え、旧河道2は、中世（平安後期～戦国）の主要な流路とされている。

現在の綾川河口部は、近世前半～中頃に開削されたと考えられている。
 青の実線は、現在の河道。

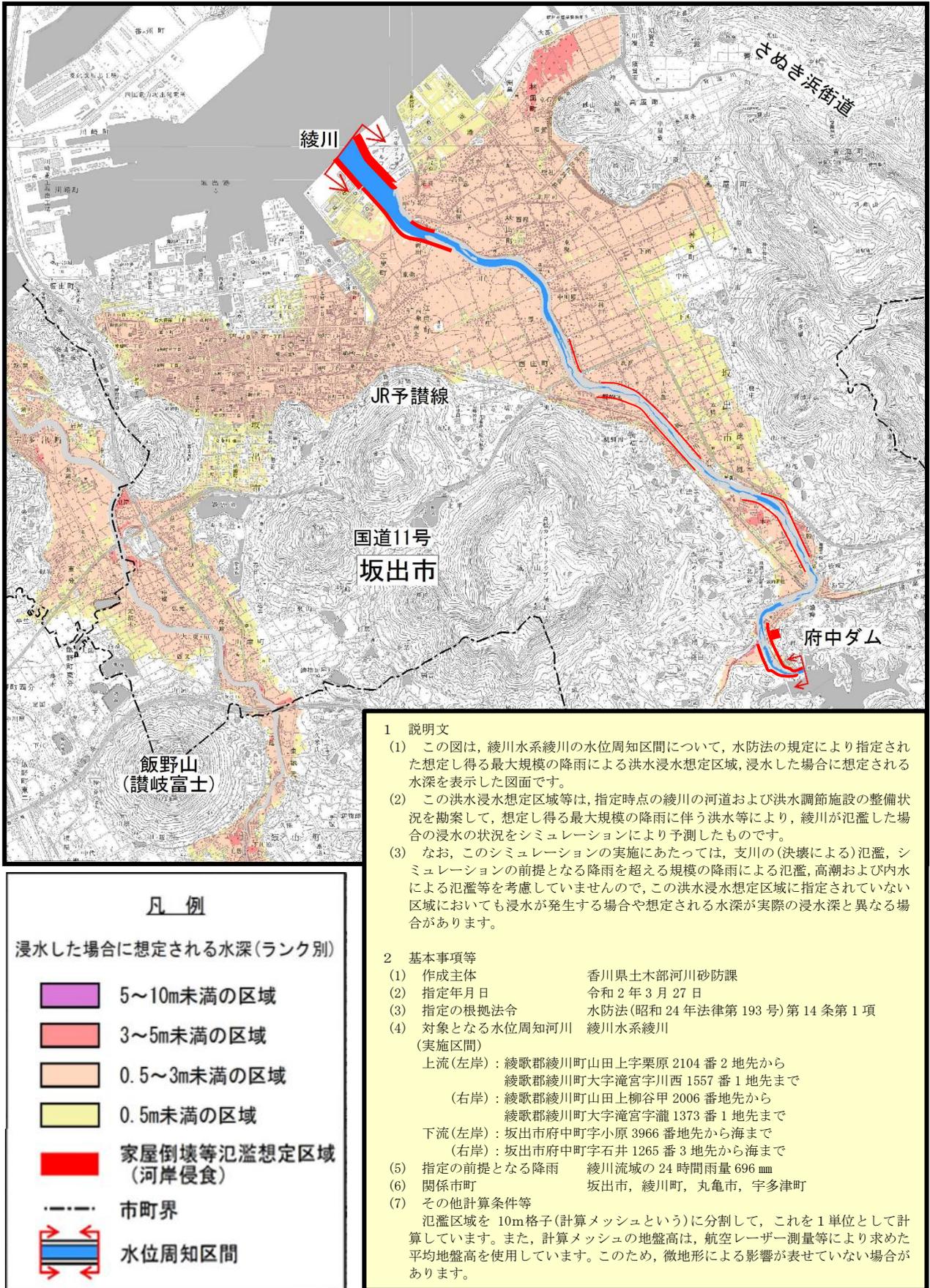
『明治39年の地図』（加筆）



明治39年の地図と、現在の地図の輪郭の比較。

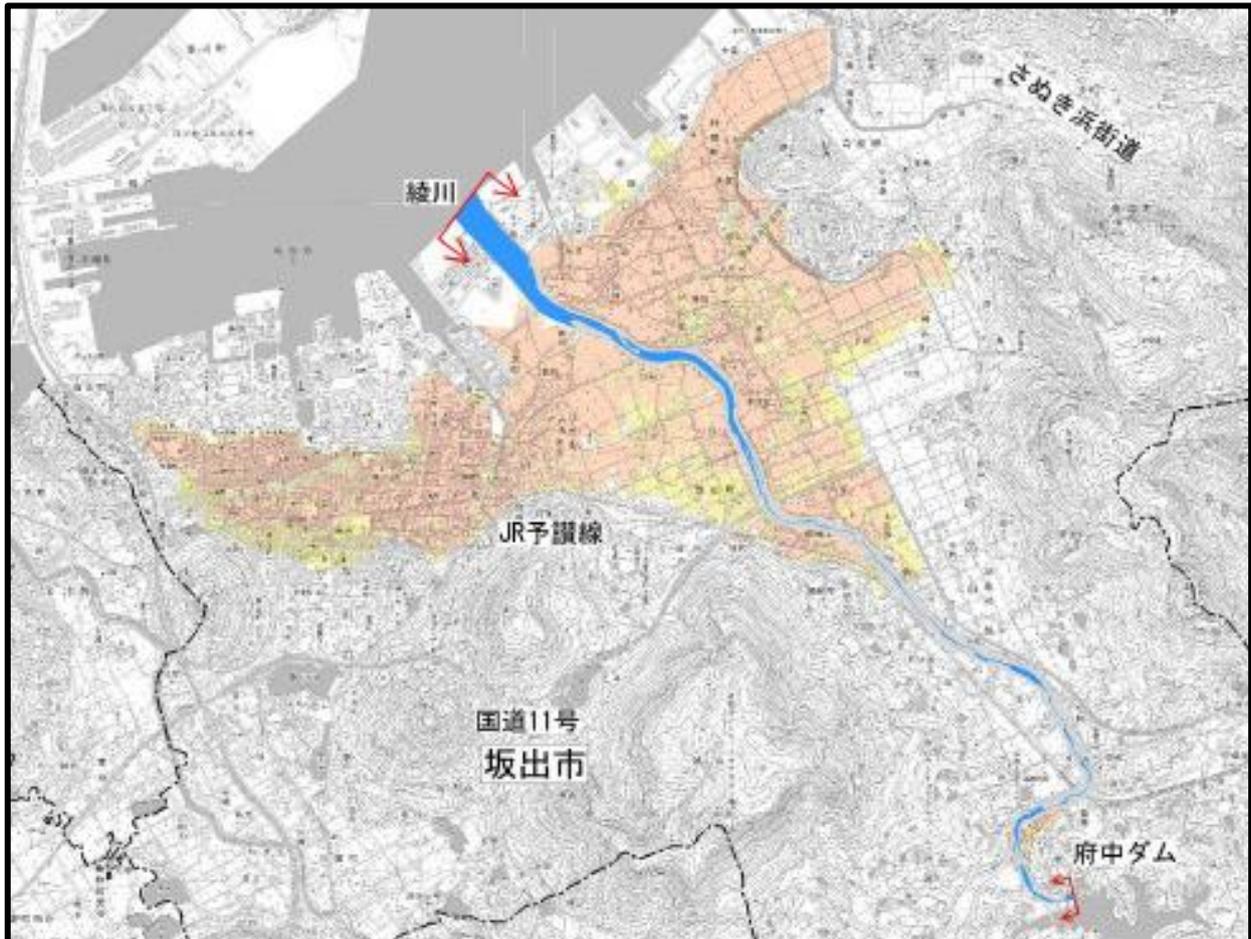
3-3 綾川水系綾川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

令和2年3月 香川県作成



3-3 綾川水系綾川洪水浸水想定区域図(計画規模)

令和2年3月 香川県作成



1 説明文

- (1) この図は、綾川水系綾川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域等は、公表時点の綾川の河道および洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率 1/70(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/70(1.4%))の降雨に伴う洪水により、綾川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮および内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に設定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

- (1) 作成主体 香川県土木部河川砂防課
- (2) 指定年月日 令和2年3月27日
- (3) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
- (4) 対象となる水位周知河川 綾川水系綾川
(実施区間)
上流(左岸): 綾歌郡綾川町山田上字栗原 2104 番 2 地先から綾歌郡綾川町大字滝宮字川西 1557 番 1 地先まで
(右岸): 綾歌郡綾川町山田上柳谷甲 2006 番地先から綾歌郡綾川町大字滝宮字瀧 1373 番 1 地先まで
下流(左岸): 坂出市府中町字小原 3966 番地先から海まで
(右岸): 坂出市府中町字石井 1265 番 3 地先から海まで
- (5) 指定の前提となる降雨 綾川流域の 24 時間雨量 290 mm
- (6) 関係市町 坂出市、綾川町
- (7) その他計算条件等
氾濫区域を 10m 格子(計算メッシュという)に分割して、これを 1 単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

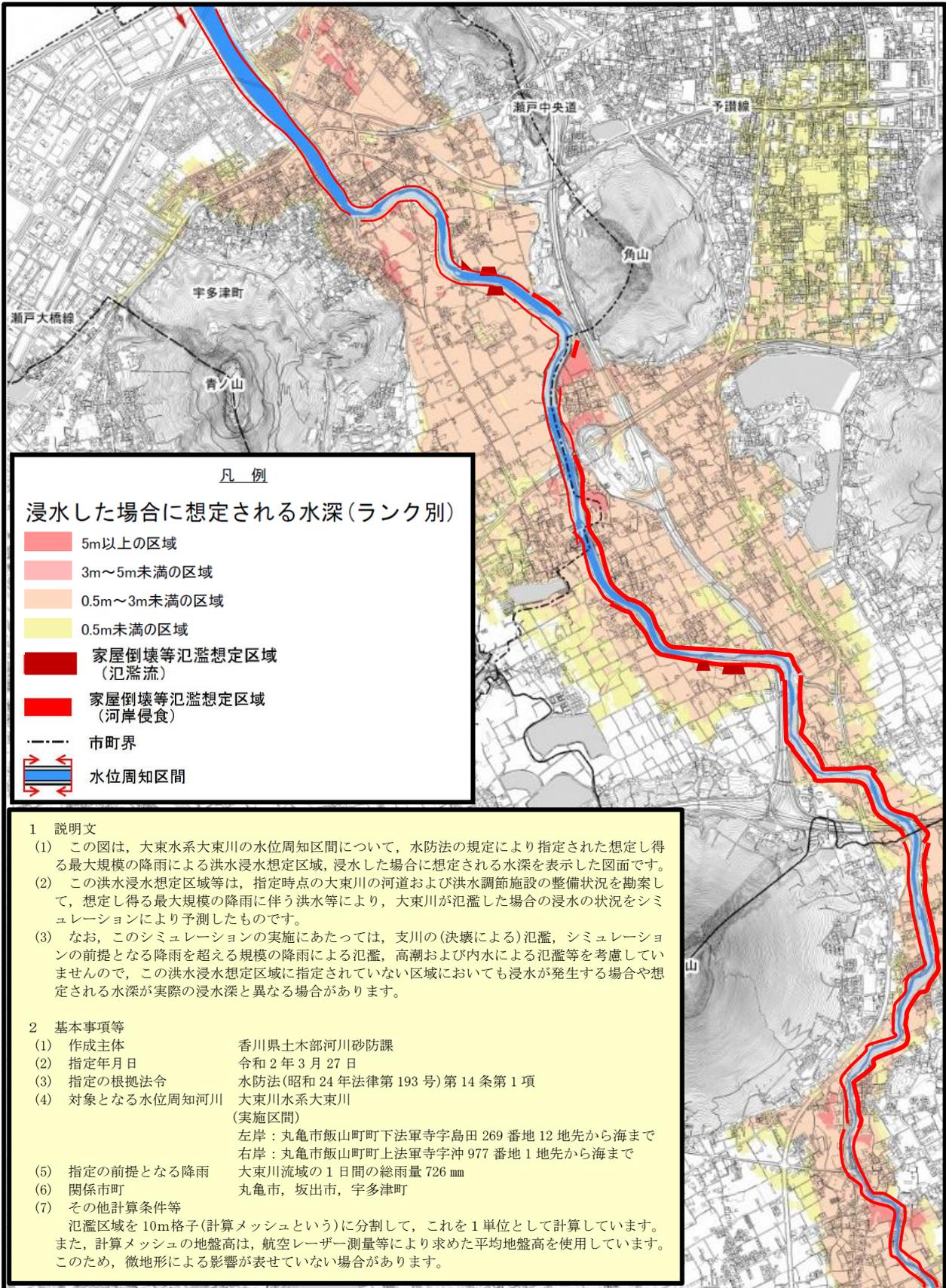
凡 例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

-  5~10m未満の区域
-  3~5m未満の区域
-  0.5~3m未満の区域
-  0.5m未満の区域
-  市町界
-  水位周知区間

3-4 大東川水系大東川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

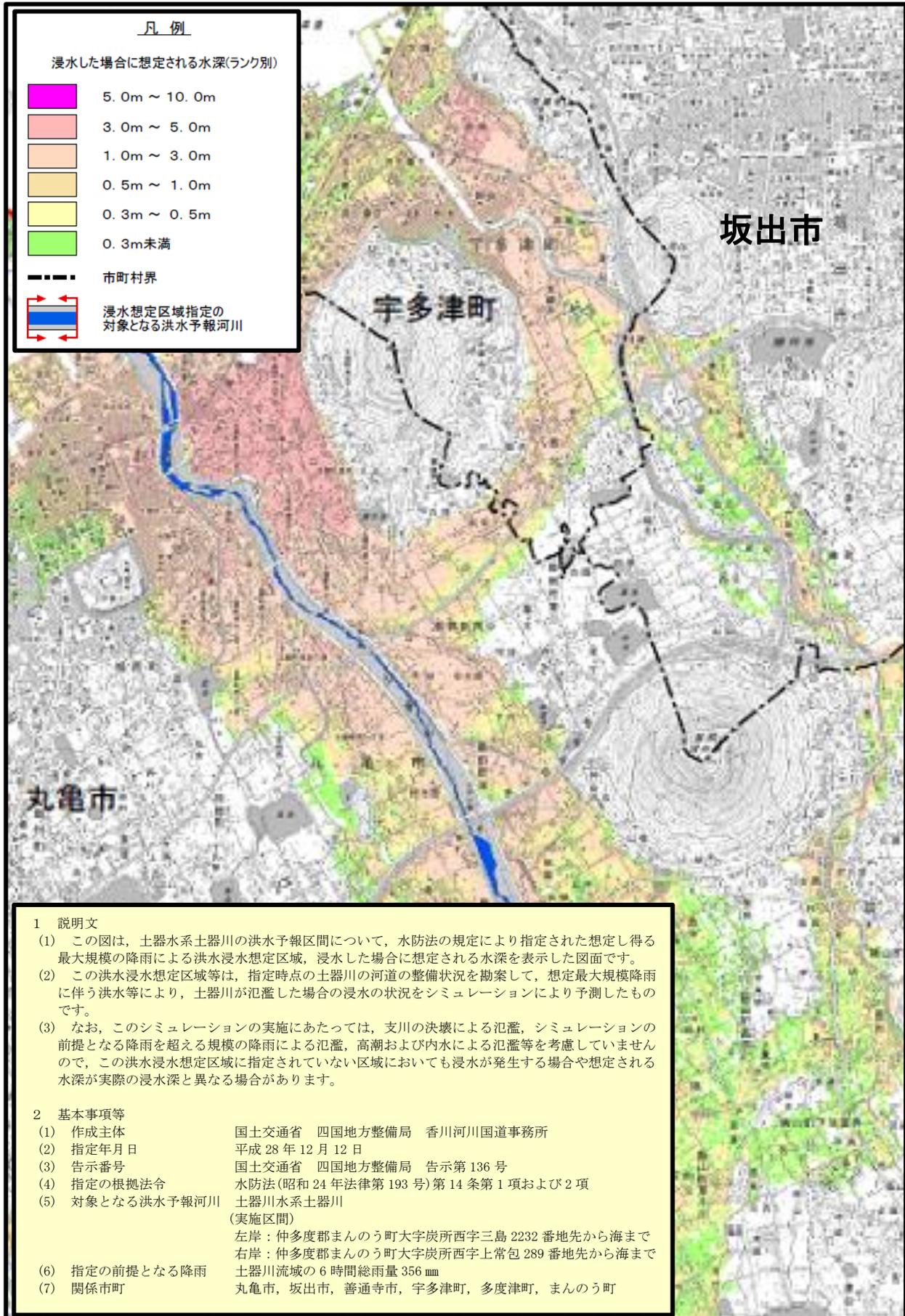
令和2年3月 香川県作成



[危機管理課・建設課]

3-5 土器川水系土器川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

平成28年12月 国土交通省四国地方整備局香川河川国道事務所作成

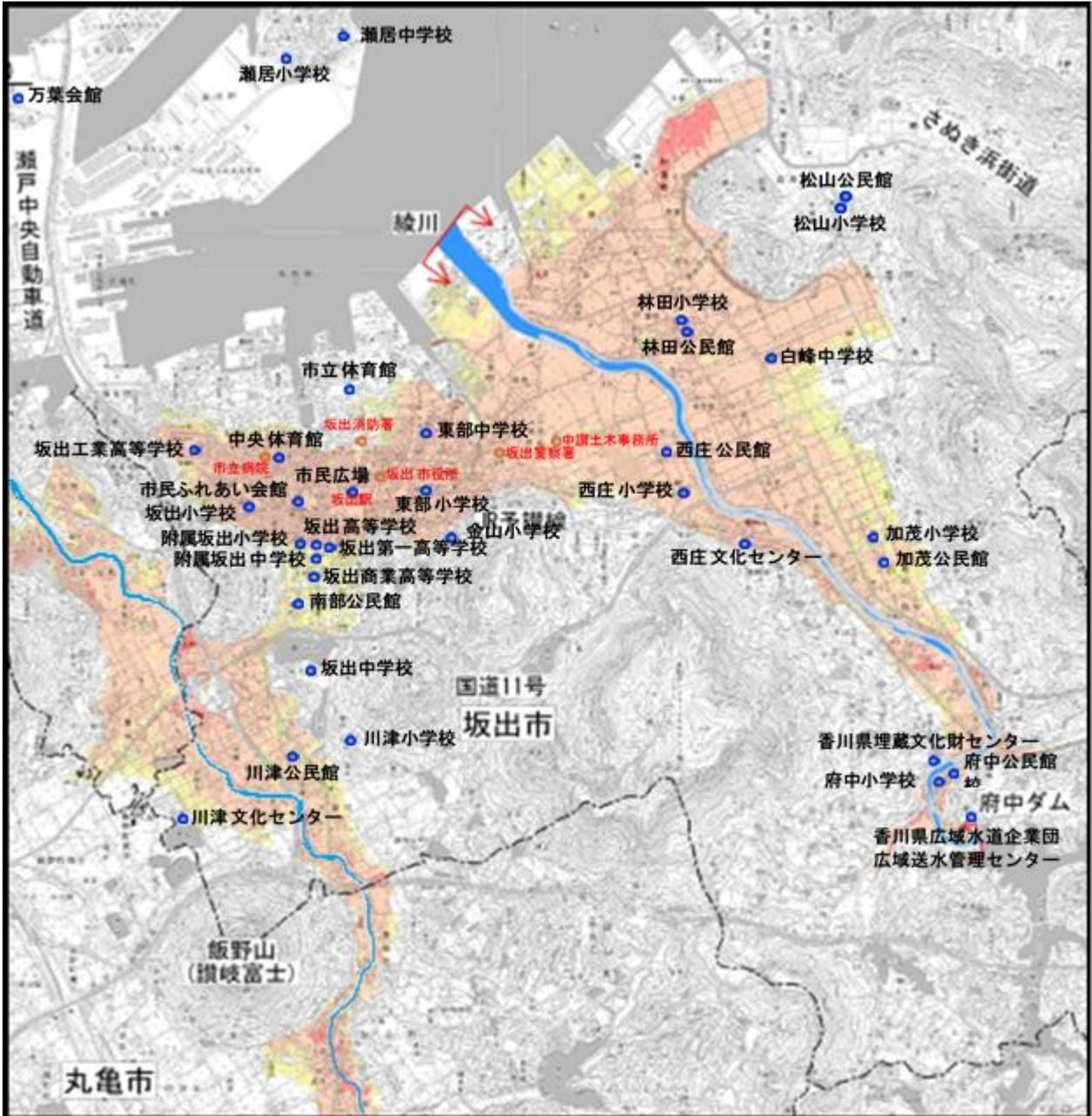


3-6 坂出市河川洪水浸水想定図

綾川、大東川の浸水想定区域図を坂出市の地図上に重ね、市の指定緊急避難場所をプロットした。

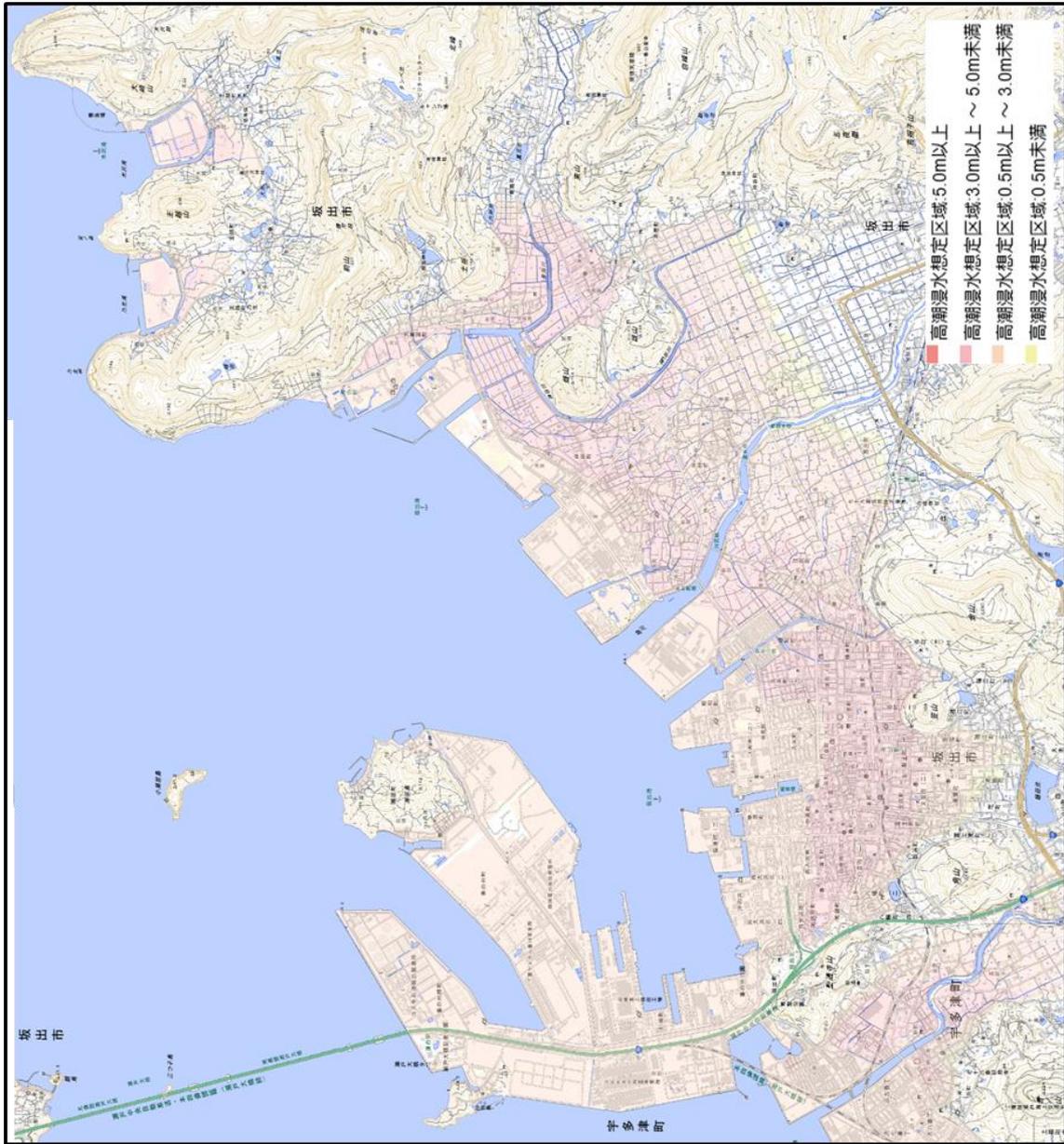
想定最大規模の洪水浸水想定区域の場合、41箇所ある指定緊急避難場所のうち、24箇所が洪水浸水想定区域内にあり、洪水氾濫した場合、校舎の2階以上に避難させる。またはあらかじめ洪水浸水想定区域外の避難場所へ避難する等の対策が必要である。

なお、土器川浸水想定区域図に関しては、平成28年12月国土交通省四国地方整備局香川河川国道事務所作成のものがあるが、土器川浸水想定区域および水深は、綾川および大東川浸水想定区域および水深の範囲内であるため、本想定図には重ねていない。



3-7 高潮浸水想定区域図(想定最大規模)

令和3年3月 香川県作成



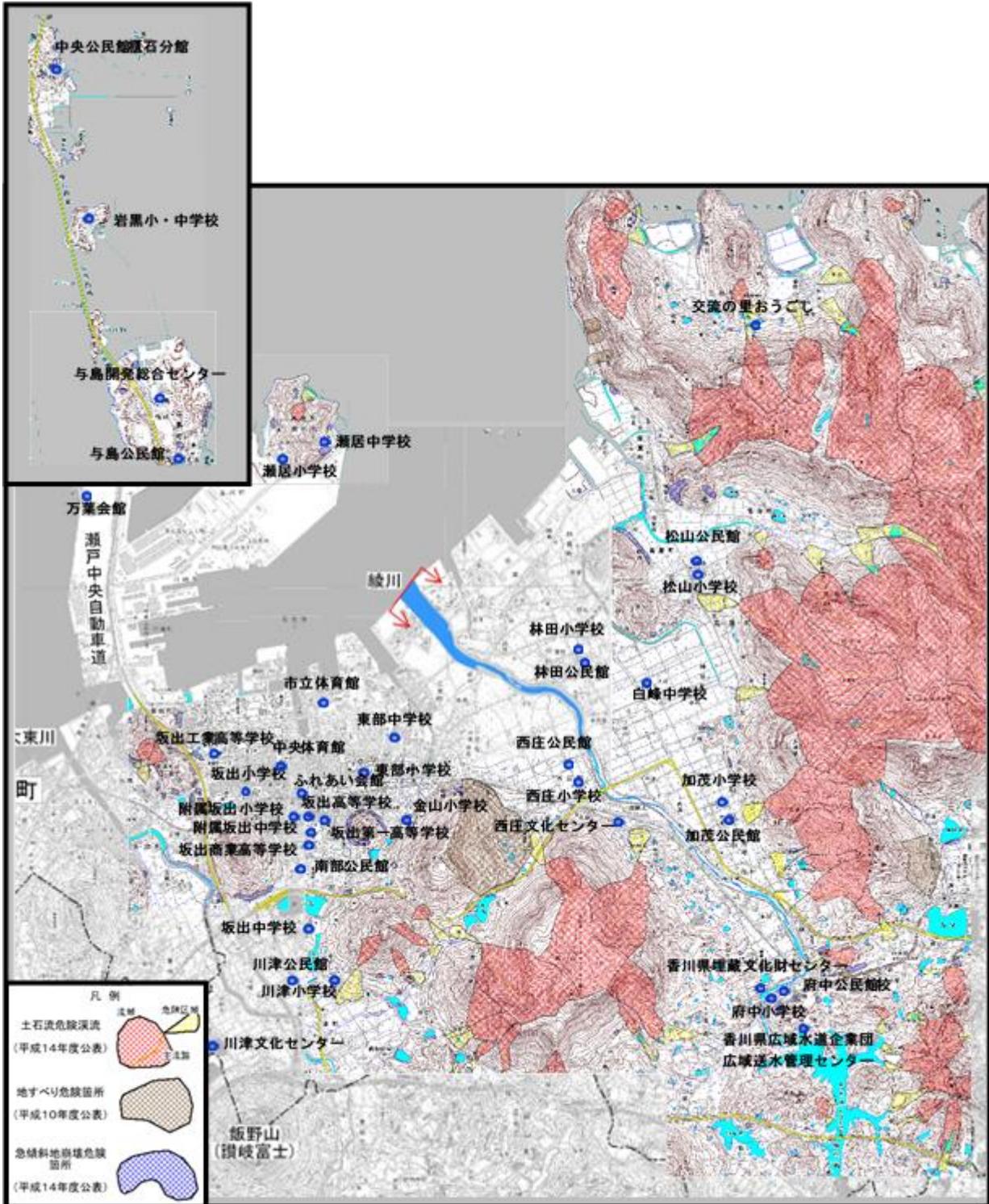
【留意事項】

- 高潮浸水想定区域図は、水防法第14条の3に基づき、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域(浸水区域)、浸水した場合に想定される浸水の深さ(浸水深)を図面に表示したものです。
- 高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、中心気圧は日本に上陸した既往最大台風である「室戸台風」移動速度は「伊勢湾台風」により、県内各地区に大きな影響を与える複数の経路を設定し、堤防・水門等は設計条件に達した段階で決壊するものとして高潮シミュレーションを実施しています。
- 台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、河川整備の目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
- 現在の科学的知見を基に過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。

3-8 土砂災害危険箇所および山地災害危険地区図

この図は、土石流危険渓流、地すべり危険箇所および急傾斜地崩壊危険箇所の土砂災害危険箇所図(香川県)ならびに山腹崩壊危険地区および崩壊土砂流出危険地区の山地災害危険地区図(香川県)を本市の地図に重ね、市の指定する指定緊急避難場所をプロットした。

指定緊急避難場所は、西庄文化センターおよび交流の里おうごし以外は土砂災害の影響を受けないと考えられる。



3-9 中央防災会議

南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ最終報告より

図1 南海トラフ巨大地震の想定震源断層域

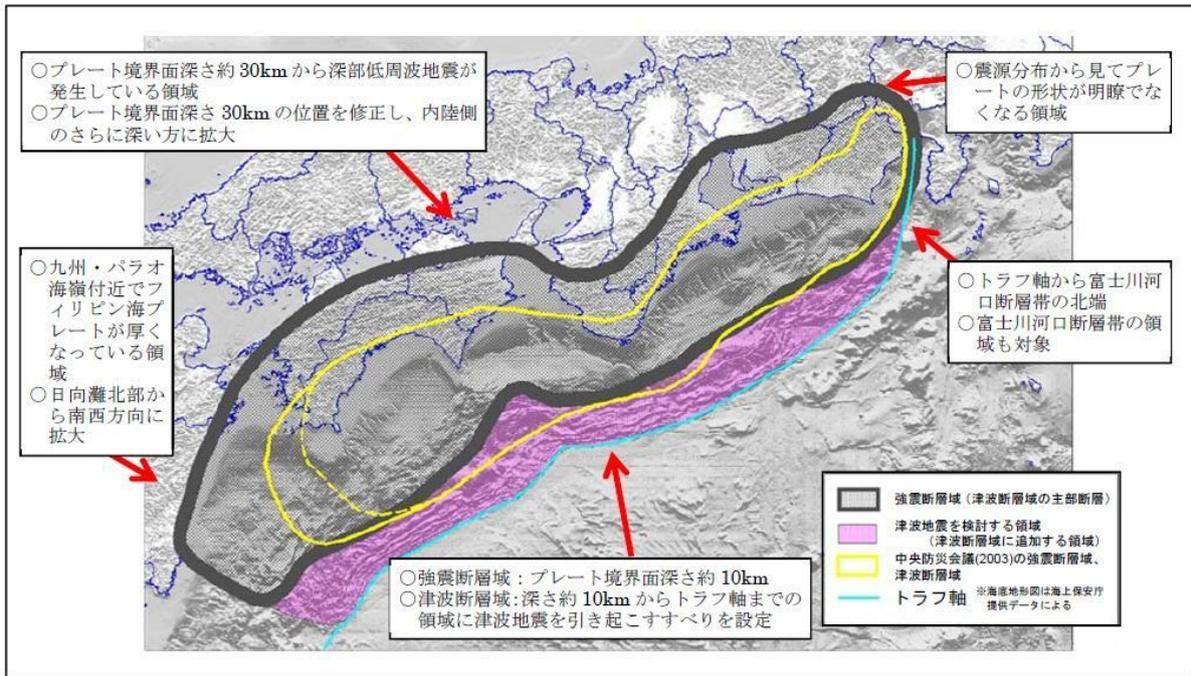
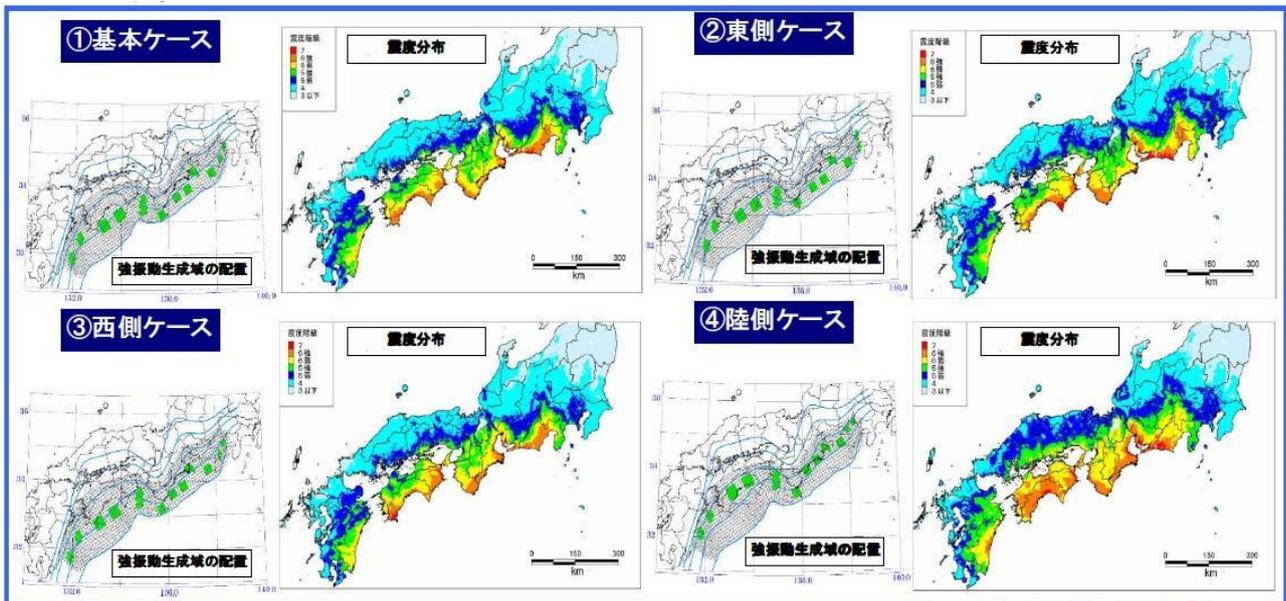


図2 強震断層モデル

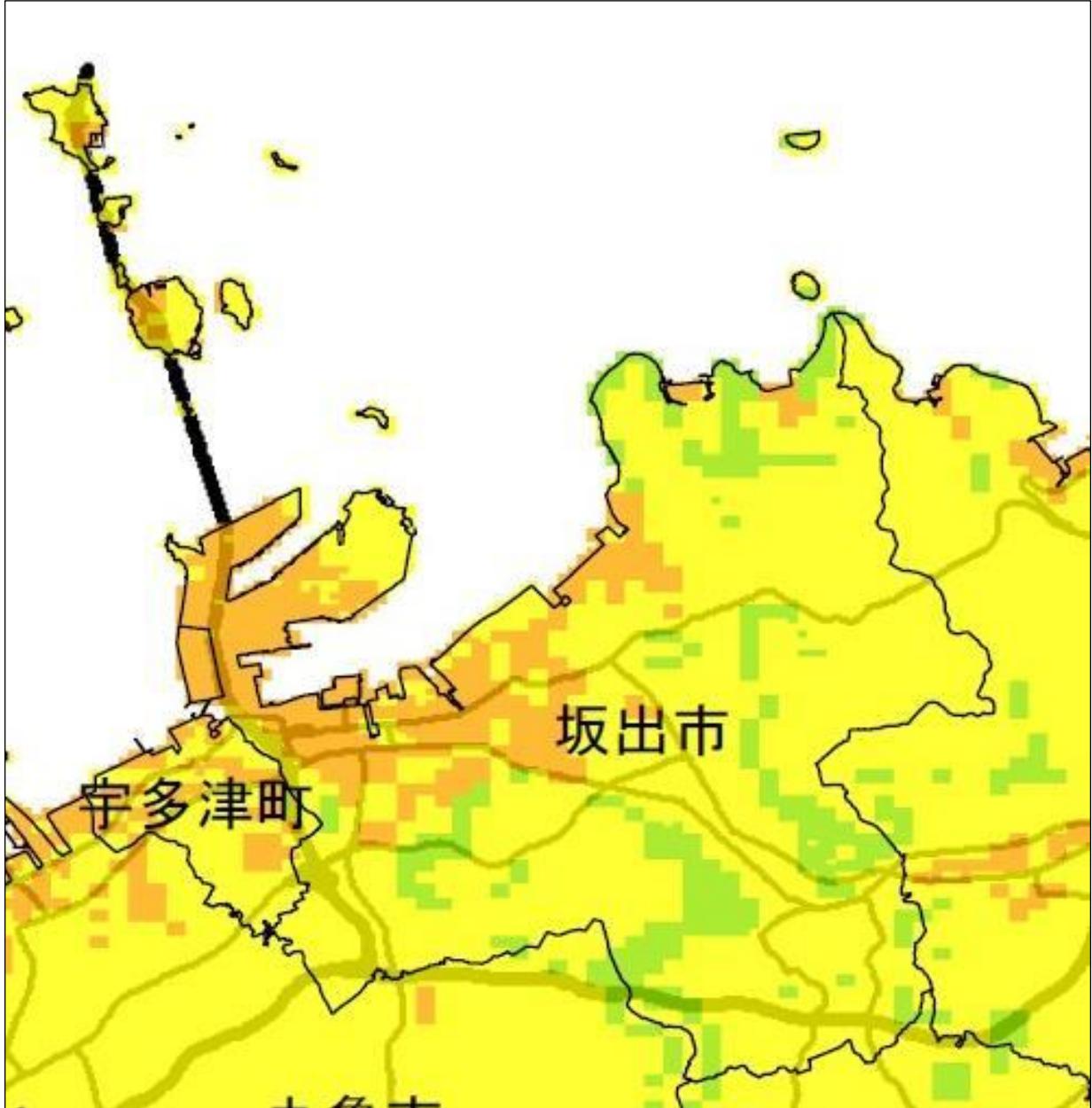


【震度分布の推計結果】

- ①基本ケース：中央防災会議による東海地震、東南海・南海地震の検討結果を参考に設定したもの
- ②東側ケース：基本ケースの強震動生成域を、やや東側（トラフ軸から見て、トラフ軸に概ね平行に右側）の場所に設定したもの
- ③西側ケース：基本ケースの強震動生成域を、やや西側（トラフ軸から見て、トラフ軸に概ね平行に左側）の場所に設定したもの
- ④陸側ケース：基本ケースの強震動生成域を、可能性がある範囲で最も陸域側（プレート境界面の深い側）の場所に設定したもの

3-10 震度分布予測図
「香川県地震・津波被害想定」より

図1-1 震源域：南海トラフ 【最大クラス】（坂出市抜粋）



-  震度6強
-  震度6弱
-  震度5強

○南海トラフの最大クラスの地震
南海トラフで、千年に一度あるいはそれよりもっと低い頻度で発生するが、発生すれば、甚大な被害をもたらす最大クラスの地震のこと。
この震度分布図は、南海トラフで最大クラスの地震を発生させる断層モデルとして国が示した4つのモデルごとに震度を算出し、各地点ごとにその最大値を示したものです。
次に南海トラフで発生する地震の震度を示したものではありません。

図1-2 震源域：南海トラフ 【最大クラス】

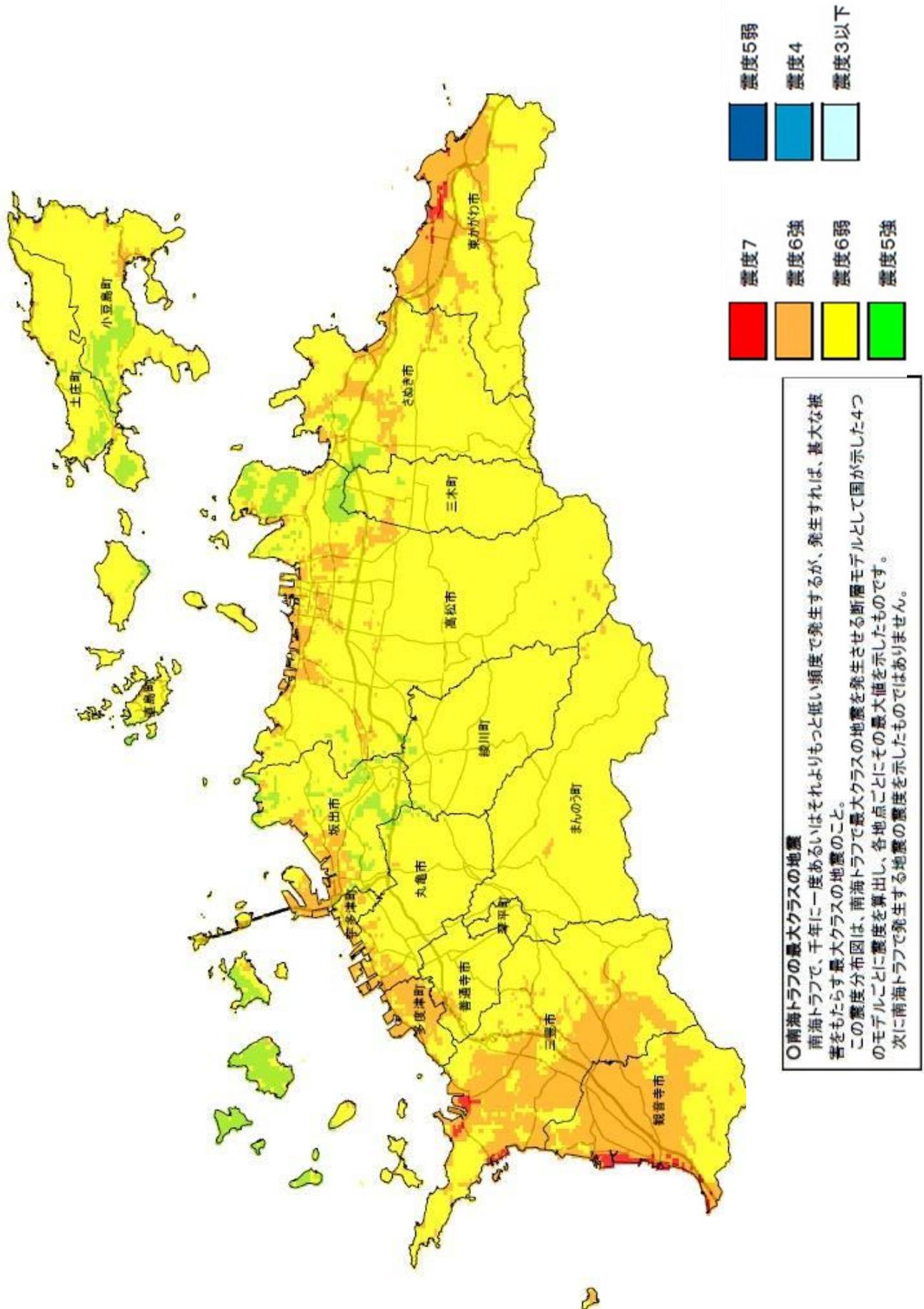


図1-3 震源域：南海トラフ 【発生頻度が高いもの】

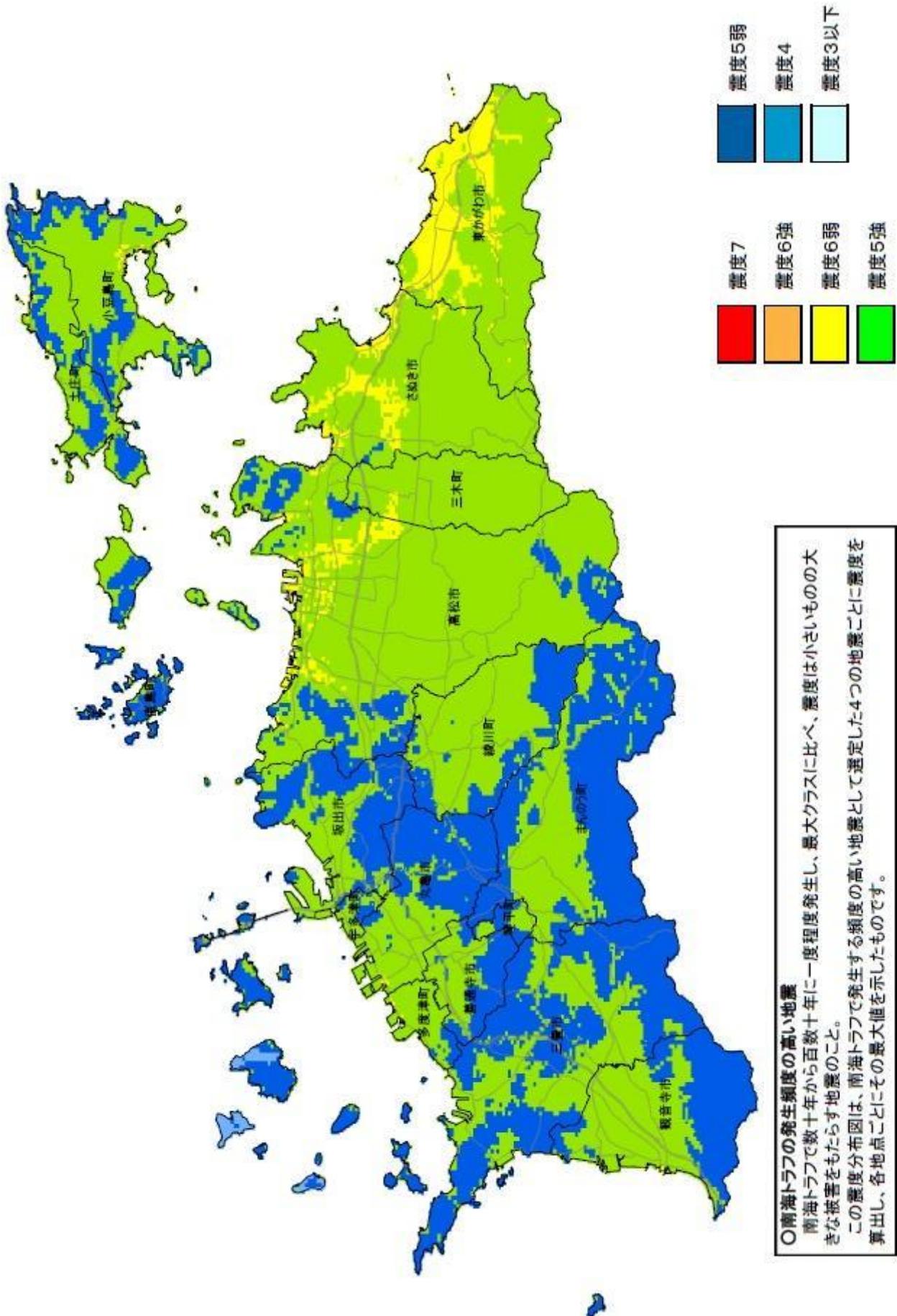


図2 震源域：中央構造線

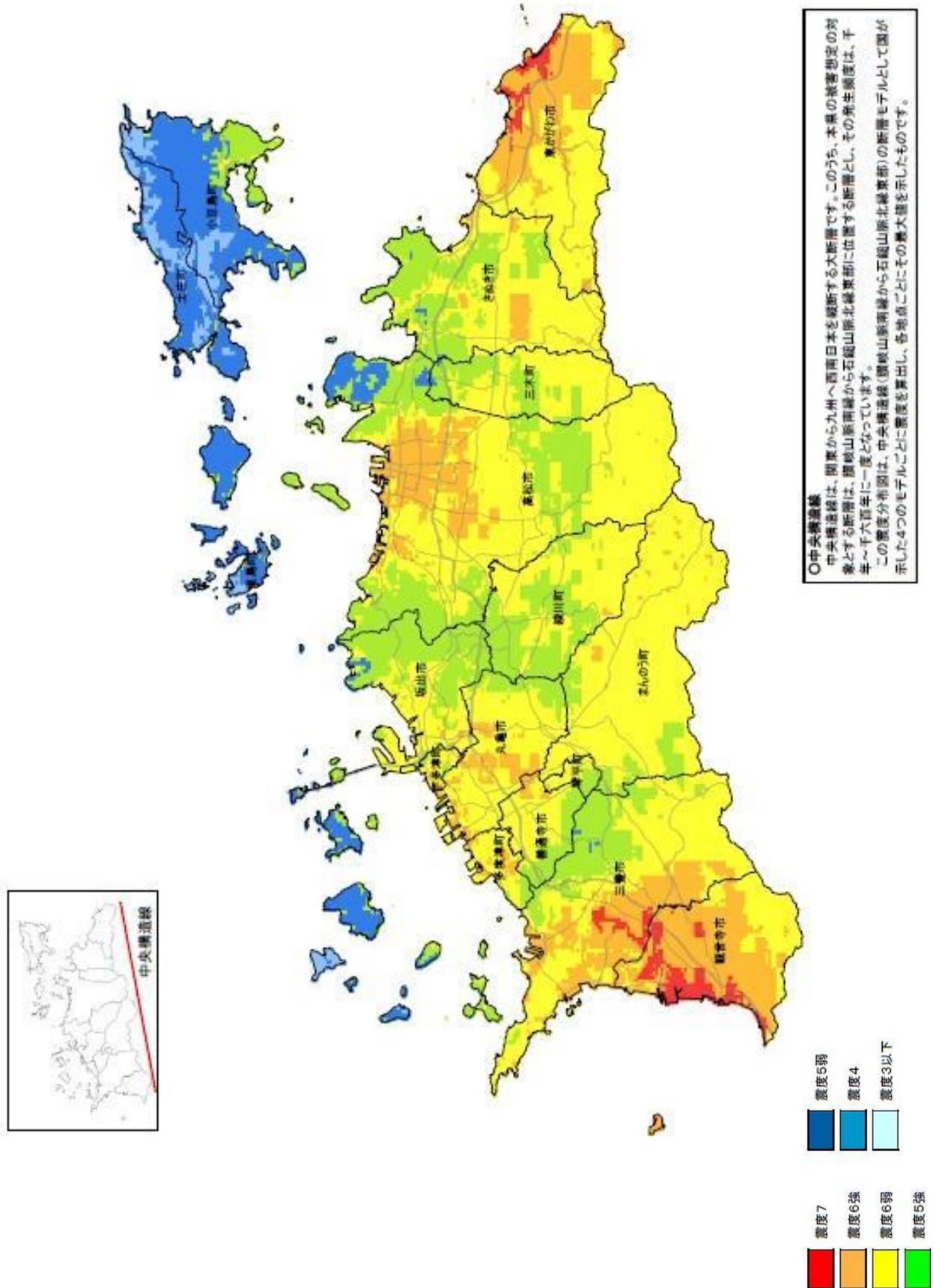
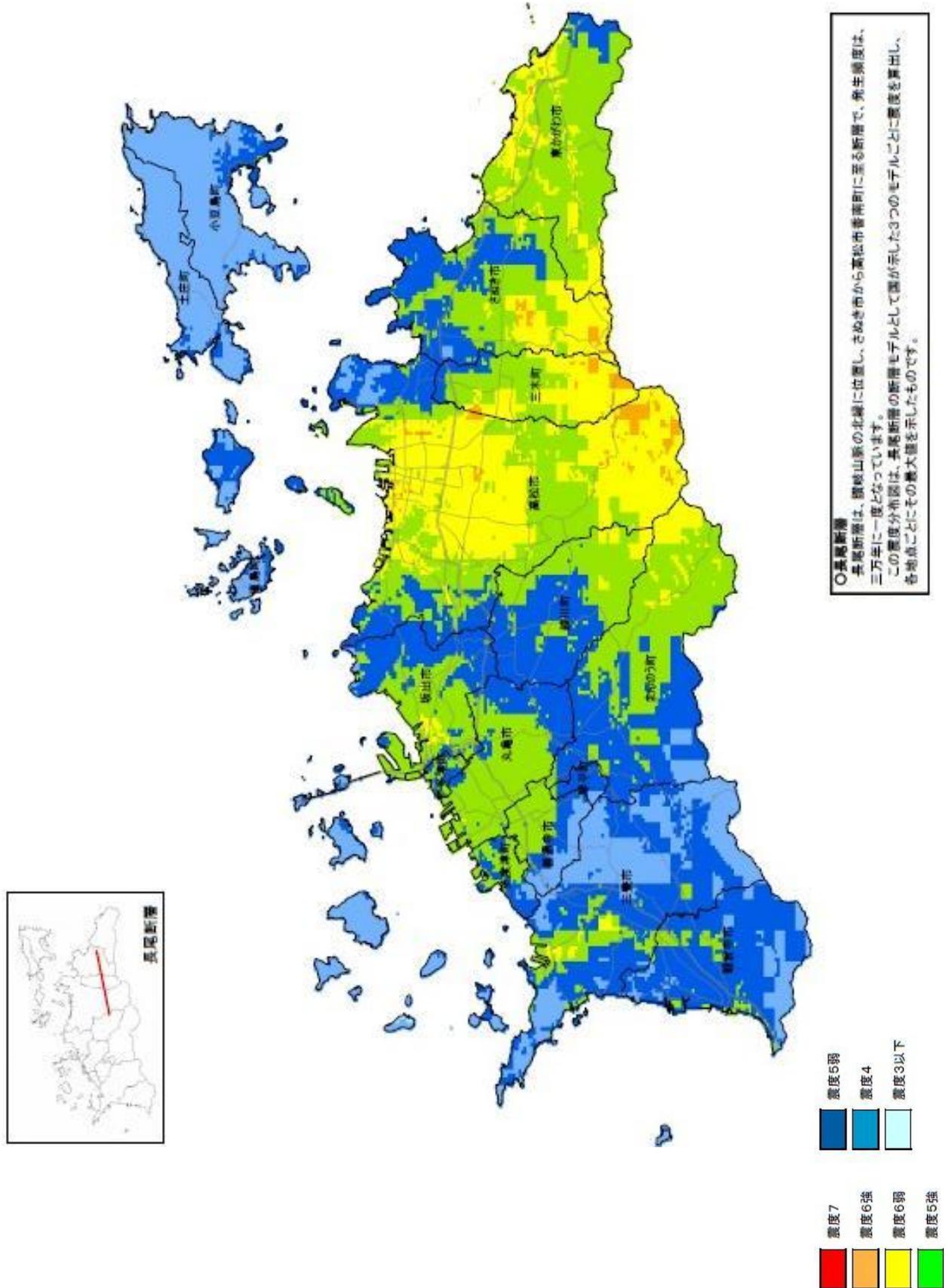


図 3 震源域：長尾断層



3-1-1 液状化危険度予測図

「香川県地震・津波被害想定」より

図1-1 南海トラフの最大クラス

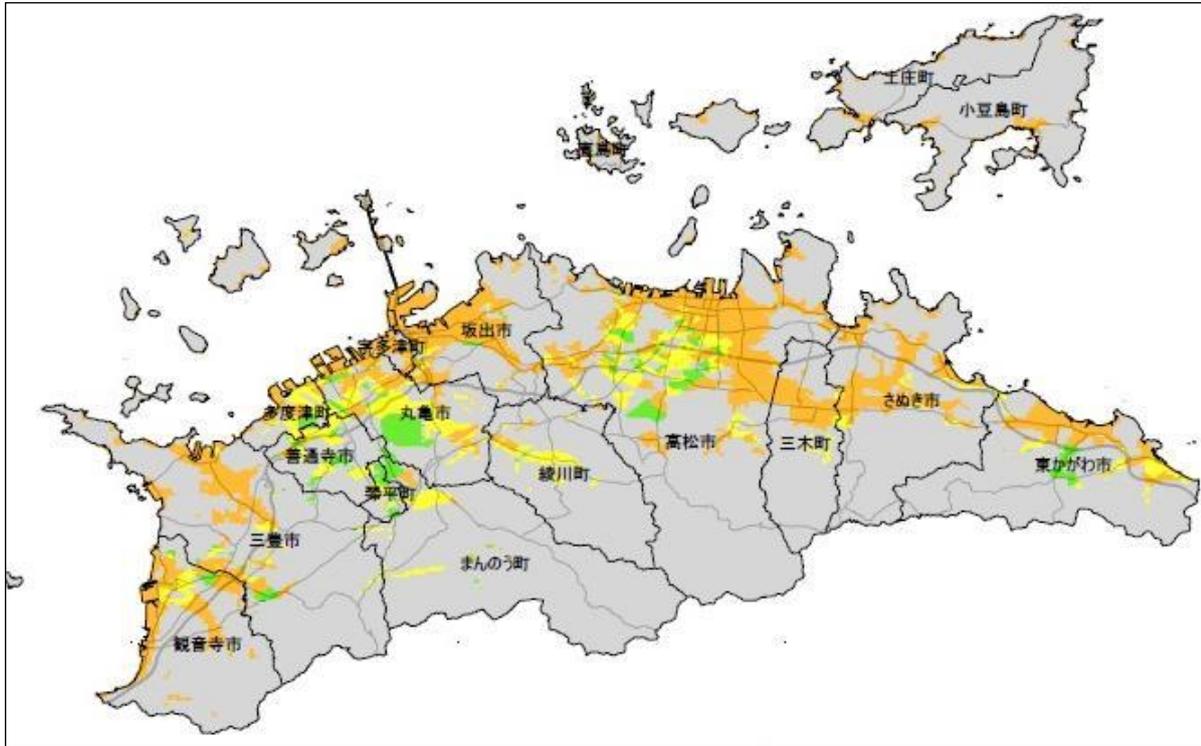


図1-2 南海トラフの発生頻度の高いもの

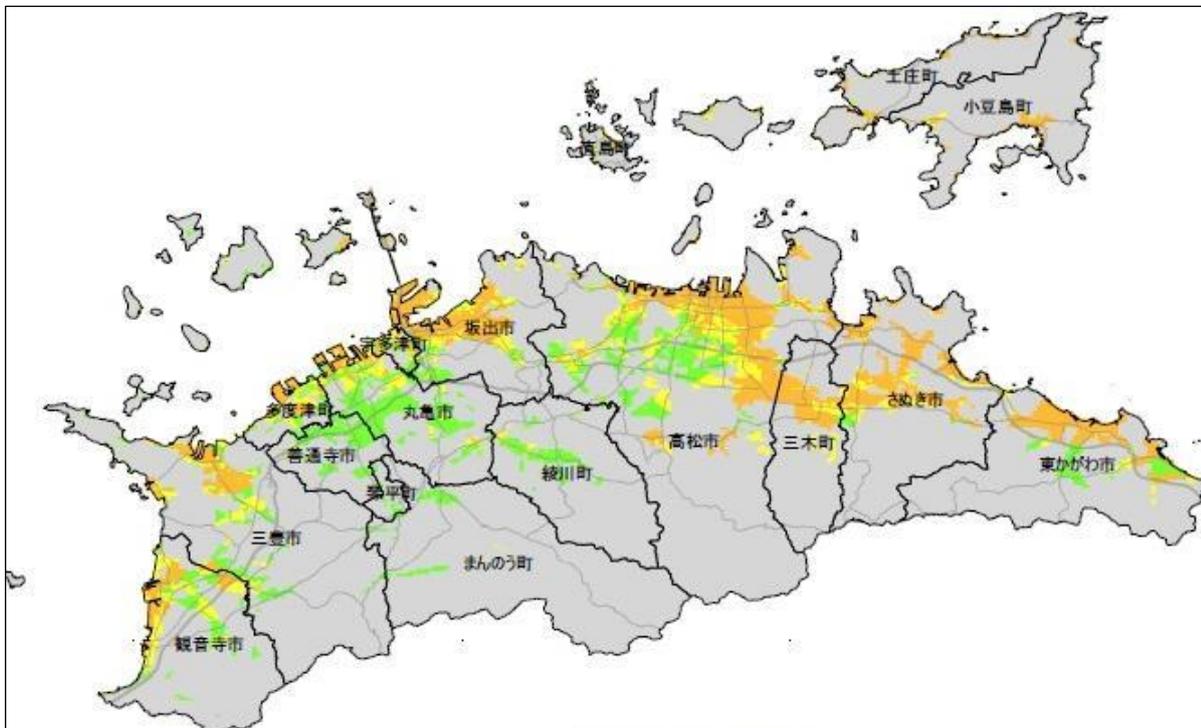


図 1-3 中央構造線

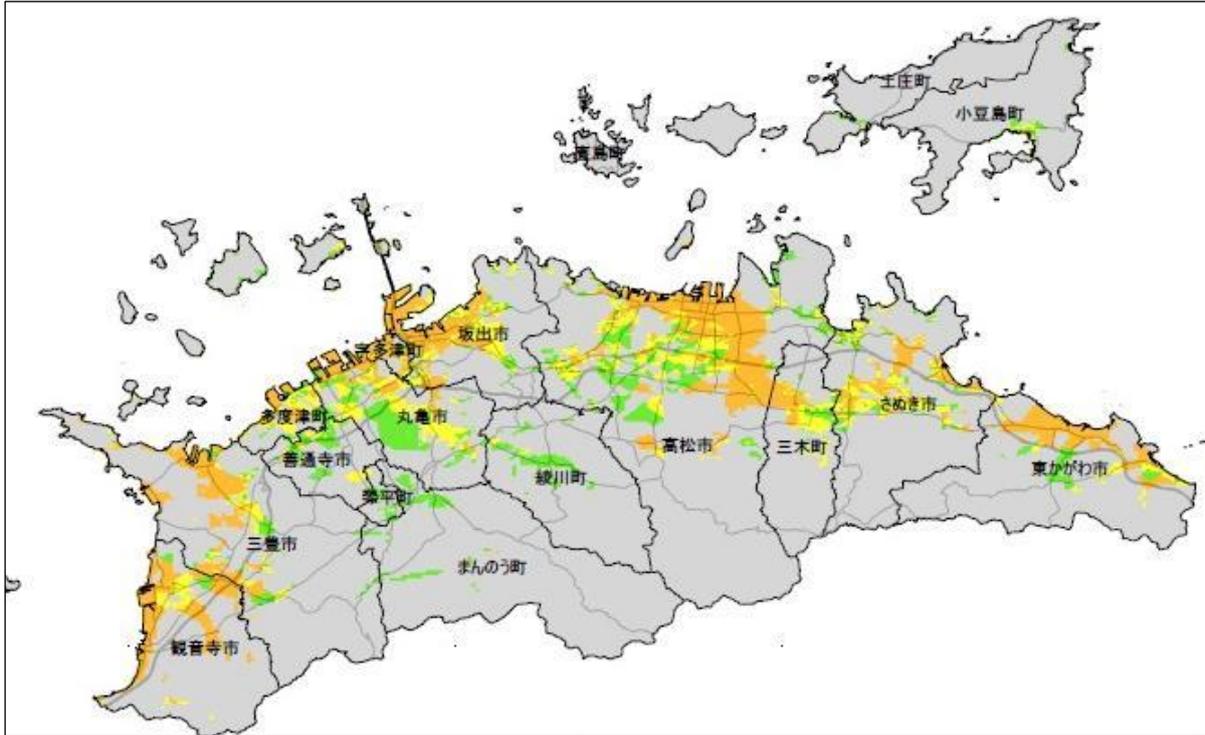
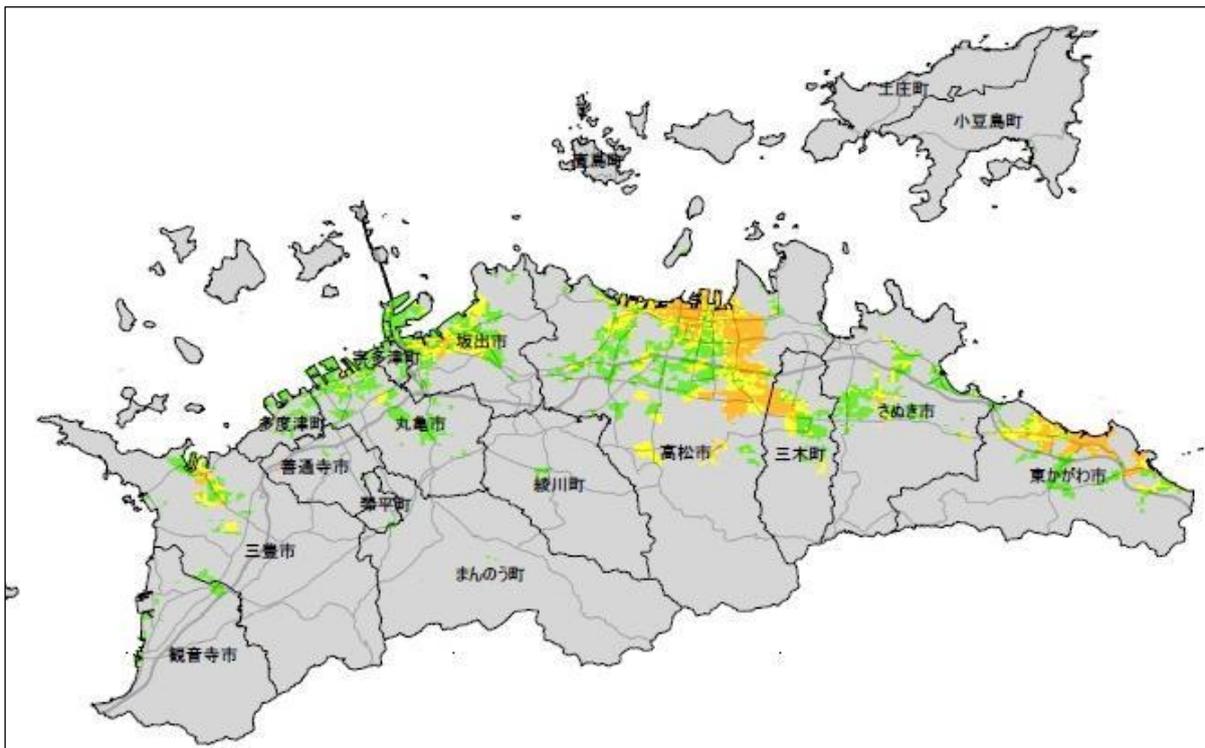


図 1-4 長尾断層



3-12 津波浸水予測図 「香川県地震・津波被害想定」より

図1-1 南海トラフ【最大クラス】(坂出市抜粋)

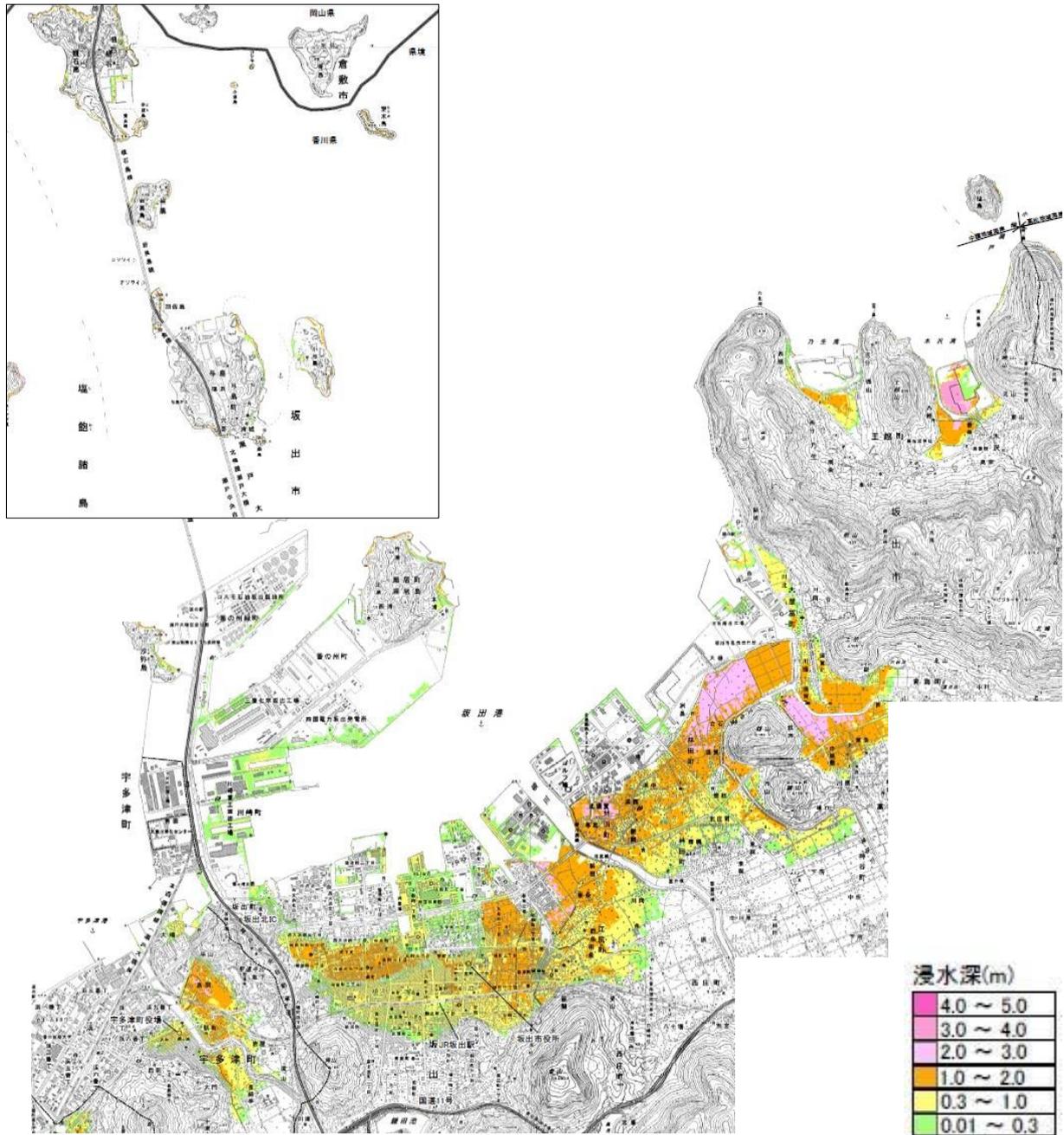
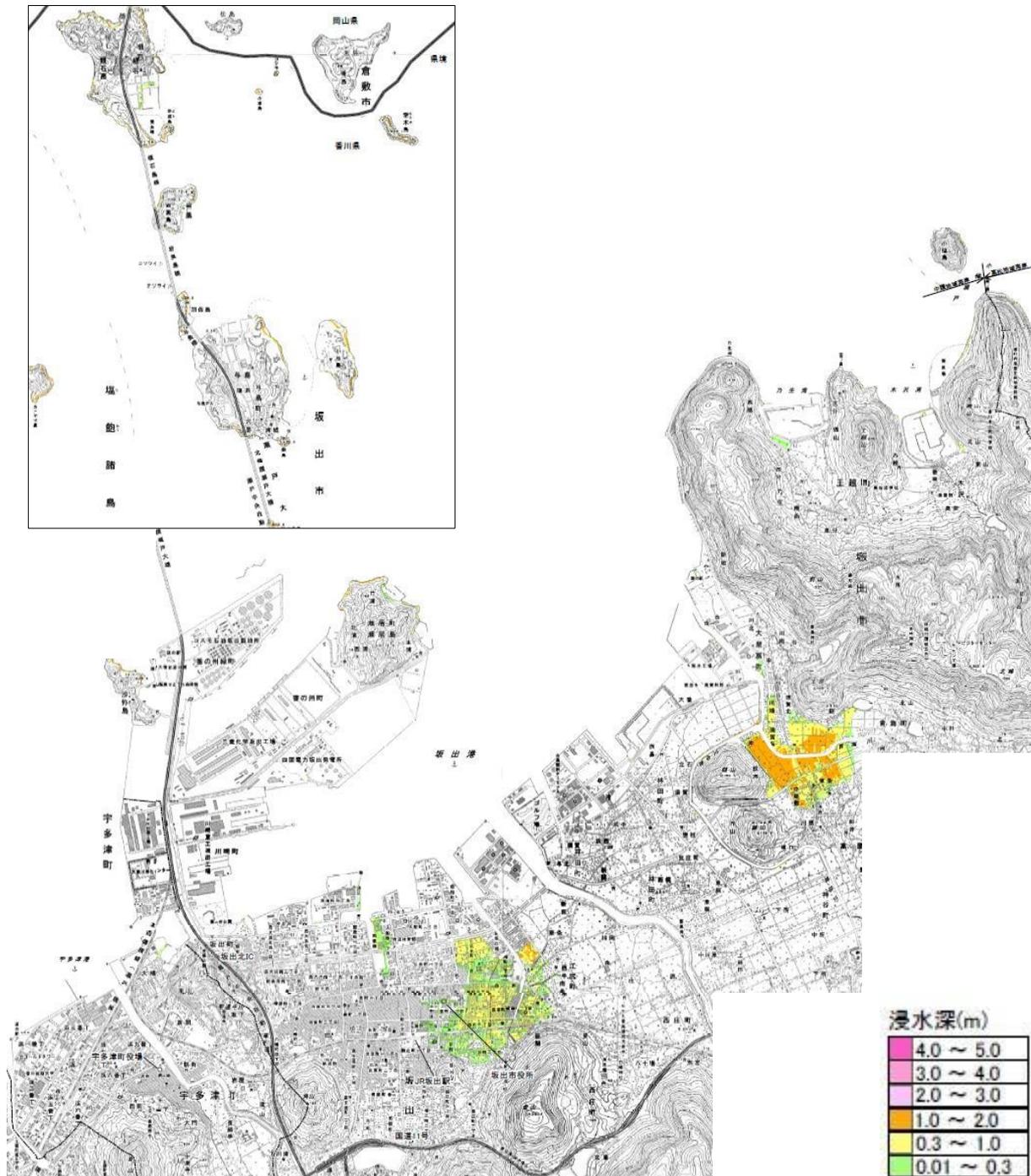


図 1-2 南海トラフ【発生頻度の高いもの】(坂出市抜粋)



3-14 海面変動影響開始時間予測図 主要地点(最大クラス)

「香川県地震・津波被害想定」より

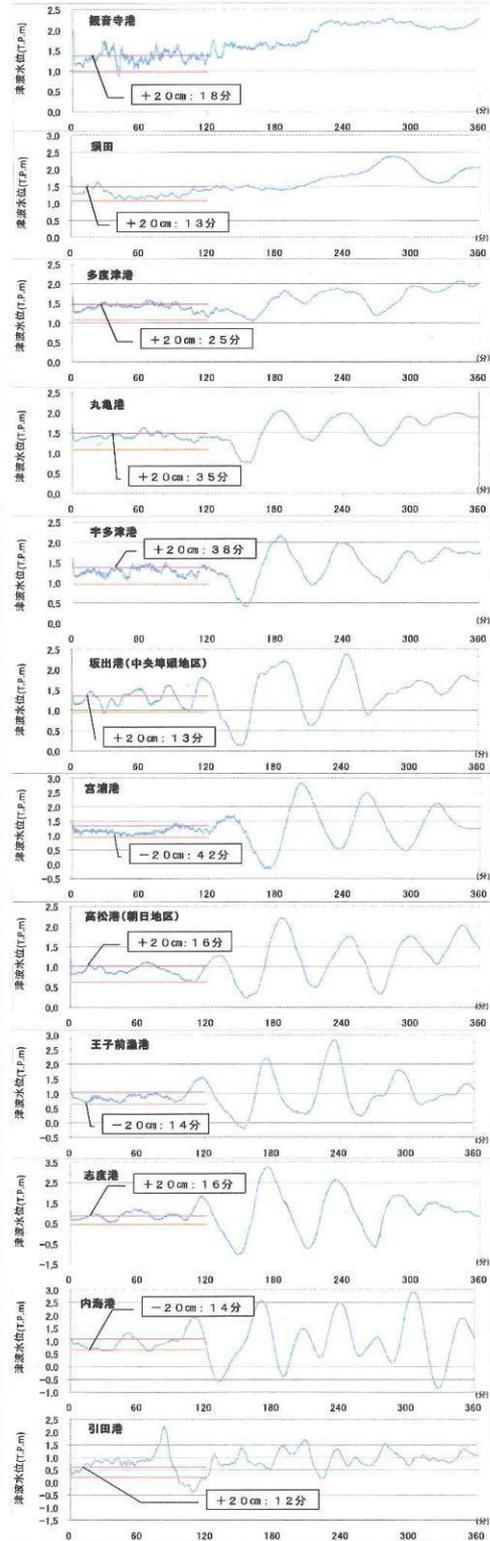
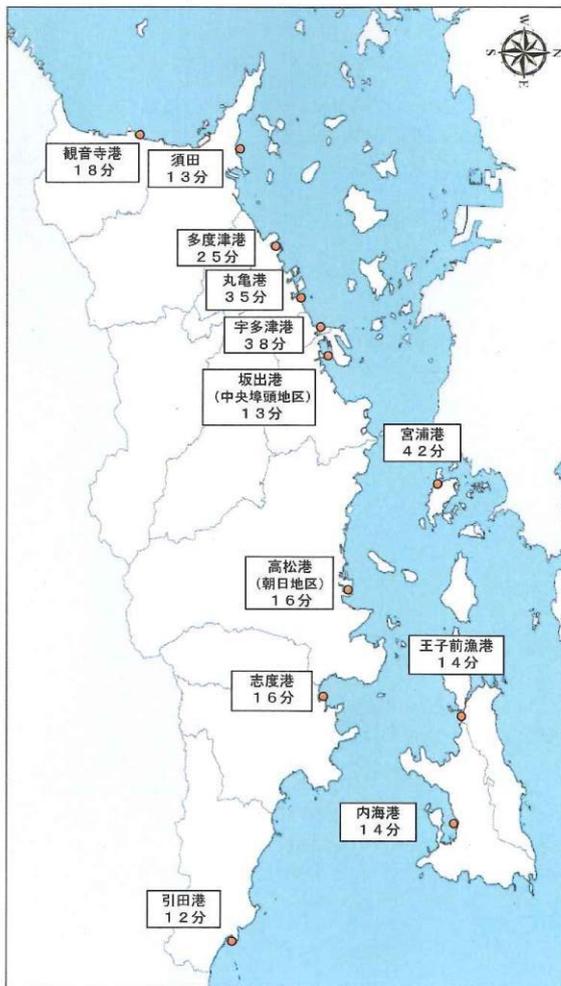
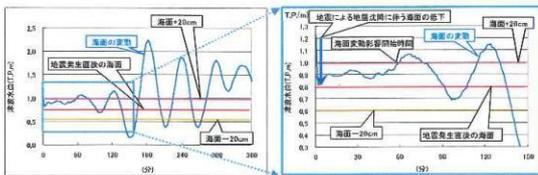
海面変動影響開始時間予測図 (主要地点)

(南海トラフの最大クラスの津波)

海面変動や津波によって海辺にいる人の人命に影響が出る恐れのある水位の変化が生じるまでの時間を示しています

- 地震発生直後の海面に±20cmの変動が生じるまでの時間です。
- 主に外洋からの津波が到達する前に、海面の変動が生じる時間を表しています。
- 実際は、この時間どおりになるとは限りません。揺れがおさまったら、すぐに避難を開始しましょう。
- 海面の変動が±20cmより小さくても、海水の流速が早く、危険な場合もあります。注意しましょう。

海面変動影響開始時間の説明



3-15 浸水深30cm到達予測図(最大クラス)

